

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーのメッセージ

よいことのために手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

写真提供: 関家第二会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8051 倉敷市中畝6丁目6-17

第 3006 例会 R. Song 「我等の生業」 天候：晴れ No.3006/2025. 7. 11

Guest なし

Visitor 倉敷中央 RC 会長 千田 修志 様、幹事 加藤 優子 様、星島様（倉敷）

出席 会員数 59 名（うち出席規定免除者 15 名②名①3 名）

7/11 の出席率 58.00%（出席者 29 名、内①6 名）

欠席 安藤、青井、馬場、小林、栗元、松隈、三宅(典)、中川、中西、沼本、佐藤、下山、田島、
滝川、瀧岡、渡辺(清)、山本(英)、山本(勲)、山本(真)、山根、柳沢、各会員（21 名）

●浅見会長

- ・本日の卓話は児島様、先月まで高成羽美術館で『芸術の系譜 児島家三大展』開催。
【倉敷中央 RC 千田会長より】現在 54 歳、良い声してるとよく言われます。今回 2 回目の会長。当クラブは少人数であり、皆で協力し合って活動しています。
- 【倉敷中央 RC 加藤幹事より】ロータリー歴は浅いが、急に回ってきた大役で不安ではありますが、皆さんの力を借りて頑張っていきたい。
- ・（会長の時間）先週、第 1 回目の例会を無事に終えることができました。その反動ではないですが体調を崩し夏風邪で 38.5 度の熱が出ました。この時期は体調管理が重要と改めて思います。単身赴任 8 年になりますが病気になった時は不便です。千葉から転勤するときに千葉市の副市長（今の市長）から『小さな不自由だが大きな自由ですね』と言われ、この言葉は印象に残っています。去年、松たか子の主演映画で『ファーストキス』というのがあり、恋愛関係の真髓をついた名言が散りばめられていると話題に。『恋愛感情と靴下の片方はいずれ無くなる』『好きなところを発見し合うのが恋愛、嫌いなところを見つけ合うのが結婚』『恋は盲目というが、結婚は逆に解像度があがり、4K で見えてくる』などの名言があります。
- ・〈理事役員会報告〉地区大会が 10/5 米子コンベンションセンターで開催されます。事前登録必要です。先週の例会はカレー。通常の食事との差額をロータリー財団ポリオプラス、米山記念奨学会に寄付をします。そのほか継続事業としてロータ

ーアクトクラブへの助成金、倉敷の水島図書館への図書寄贈などは継続します。

- 幹事報告（横道幹事）：クラブ米山記念奨学委員長研修会のご案内。他来信 10 件
- 65 周年記念行事（桐野実行委員長）：既に OB、OG にゴルフの案内をお配りして
ます。来週 7/18 に第 1 回目の会合を行います。キャッチフレーズは、『10 年後に
記憶で語るより記録で残そう』です。皆様のご協力をお願いします。

- スマイル報告（土井 S.A.A）※紙面の都合により、内容が同じものは取り纏めております。

- ・倉敷中央ロータリークラブ様より、スマイルをいただきました。
- ・浅見会長、和田(務)副会長、横道幹事：倉敷中央ロータリークラブの千田会長、
加藤幹事のご来訪を歓迎いたします。
- ・浅見会長、和田(務)副会長、横道幹事、桐野、松村、石田、永井、各会員：児島
慎太郎様のご来訪を歓迎いたします。卓話を大変楽しみにしております。
- ・永井会員：倉敷ロータリークラブ星島さんのご来訪を歓迎いたします。

- プログラム卓話 「児島慎太郎 絵画の世界」 画家 児島 慎太郎 様

〈ご紹介〉1977 年総社市生まれ。フランス、イギリスに留学。昨年 Exhibit in the
zone1 位受賞。「岡山県美術展」山陽新聞社賞など数々の賞を受賞されております。

- ・曾祖父が画家の児島虎次郎、父が陶芸家の塊太郎になります。最初の留学先フラン
スで、若者でも自分たちの国家や理想を真剣に語り合う姿に衝撃を受け、帰国
後日本人のルーツを巡り製作する旅を始め中国を旅しました。中国で好きな場所
が杭州、万里の長城で 2012 年「長城」という作品を描いた。中国に行ったとき何
かピースが足りない感じがし、沖縄のうるま市の勝連城跡に答えがあると直感し
沖縄で製作を開始。2016 年「ニライカナイ」という作品を描いた。沖縄で自分の
思いや哲学を絵に込める事が出来始めた。次にヨーロッパ文明の発祥の地である
ギリシャを訪問。サントリーニ島に制作意欲を掻き立てられ滞在し絵を描いた。
その時の絵がギリシャ大使館に収まることになった。パルテノン神殿を描いたの
が「アクロポリス」という作品。これは倉敷国際ホテルのロビーにかけられてい
る。歴史とか文化を絵に落とし込むことが好きだった。北海道美瑛は畑文化で、
野菜たちがこんなに色鮮やかだと知らず衝撃を受けた。2023 年美瑛での作品「道」
で山陽新聞社賞をいただいた。次にサンフランシスコに滞在。隣同士の家の色を
同じにしていけないという法律があり、とてもカラフルな町。ただコロナ以降、
街が様変わりし治安が悪く物価も高く暮らし難い中で必死に製作し、アメリカの
コンクールで 1 位をいただいた。「フロンティア」という作品では、アメリカの開
拓精神と自分の新しいアートを求める気持ちがリンクした。最後に、人間にとっ
て最も大切なのは直観を信じる事だと思う。沖縄で感じた最初の直観に気づいた
事が僕にとって大事でした。最初は小さな波紋だがやがて大きな波になると思う。

例会プログラム予定：7 月 18 日(金)卓話 イニシエーションスピーチ 伊藤 勇 会員

7 月 25 日(金)卓話「酒津焼について」第 7 グループガバナー補佐 岡本 研作 様 (倉敷 RC)